TS500-TSF 簡易取扱説明書 (標準仕様)

東邦薬品株式会社

p-1

定温搬送装置 TS500とは

TS500は、外気温度の変化にかかわらず庫内温度を一定に長期間保つことのできる、軽量コンパクトな定温搬送装置です。 特に非凍結温度条件の細胞搬送に特化した定温搬送装置です。庫内温度を4.0℃~37.0℃に設定することができます。内蔵電池 で長時間搬送が可能です。庫内温度、外気温度、フタの開閉、アラーム情報などを記録・表示し、付属の専用ソフトTSF TOOL でパソコンに記録データを取り出して管理できます。

1.製品仕様と外観名称、付属品







※設定温度の20.0℃として説明を続けます。

3)変更した設定温度で、温調が開始されます。

oad

📕 データ編集

前 記録消去

Pラート上下限値

設定温度 現在値 **20.0 ℃**

20 • .0 • 🥖 変更

管理上限 + 3 🔹 変更 管理下限 - 3 🔹

現在時刻 2018/10/29 14:42:00

а

b

6.搬送準備

1) 収納準備確認

●液晶画面は庫内温度が下がるに従って、下のように @庫内温度③が設定温度で安定していることを確認。 変化します。(★設定温度20℃の時) ^(b)メイン画面のテキストバーが"READY FOR TRANSPORT"表示 で緑色背景であることを確認します。 1)庫内温度が22℃以上の場合 ©電池残量が満充電を確認します。 EXT. 25.0 °C MAIN 庫内温度⇒赤文字表示 00d/00b/00 DATA が緑点灯であることを確認します。 ➡搬送準備完了 ※搬送準備LEDの点灯は庫内温調完了 2)庫内温度が22℃以下に を示します。 FXT 25.0 °C なったがまだ安定状態 00d/00h/00n でない注意段階の場合 DATA (21.5℃~22℃) 2)記録をスタートします。 庫内温度は⇒黄文字表示 e d (18℃~18.5℃も同様) 操作パネルの記録スイッチ団を押すと記録を開始します。 REC)が点滅し、1分経過するとLOGマーク⑩が出ます。 ※LOGデータが残っている場合は、記録スイッチ団をログマークが消え 3)庫内温度が規定温度範囲 るまで長押しして、新しく記録を開始してください。(記録停止はREC に到達した場合 DATA 017/04/01 12:34 MAIN 📷 SUB マークが消えるまで長押し) 庫内温度は⇒白文字表示 APSE TIME EXT. 25.0 °C 00d/00h/34m 注)テキストバーが DATA RFC "TEMP ADJUSTING"表示の 場合、まだ搬送準備完了ではありません。 20.0°C LOG 7.収納 1)フタを開けて収納物を収納します。 3) 搬送物を収納します。 2) ラッチを外してフタを開けます。 ※必ず設定温度に温調した試料を 庫内は直接接触しても温度が規定範囲 フタを開けると次にフタを閉めるまで を超えることはありません。 収納してください。 ブザーが鳴ります。 ※防振等の処置が必要な場合は、 (写真は、血液製剤の例) 別途ご相談ください。 4)フタを閉じてラッチをかけます。 5)操作パネルの△上下キーを押して、メイン画面からデータ表示画面を選択します。 データ画面で記録の確認を行ってから、メイン画面に戻ります。 - 庫内温度



2017/04/01 12:3	4 MAIN 🇰 SUB 🖂	TS-00001	
EXT. 25.0 °C	LAPSE TIME 00d/00h/34m	MATN	个 切
[™] 20.0 °		DATA	Ŷ
READY FOR TRANSPORT		REC	
AC -CLOSE	target temp. 20.0°C	LOG	
		REC	

	外気温度
2017/04/01 12:34 MAIN 🛄 SUB 🖉 TS	S-00001
START: 2017/04/01 12:00 END : TOTAL: 00d/00h/34m/12s	MAIN
Tin(°C): MAX 20.4 🚽	ΔΑΤΑ
: MIN 19.8 AVG 20.2	
Ta (C): MAX 28.2 : MIN 24.7 AVG 25.9	REC
DOOR : OPEN 1 CLOSE 1	
BATT : WARN 🛶 CAUTION 📑	LOG
 ● フタ開 ● 雷池アラームの有無 	閉回数



8.搬送